



自治労連 新聞



全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第29号
発行日：平成29年8月
自治労連教宣部発行

本部 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 北区役所B1 全連協事務所内 (03)3907-5177

【大会の挨拶をする濱村真光中央執行委員長】



5月12日「ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル」(岡山県玉野市)において、北海道から沖縄まで、全国の各単組から約100名が参加のもと、「全国自治団体労働組合連合(自治労連)第48回定期大会」が開催されました。

第48回自治労連定期大会が岡山県玉野市で開催されました

岡山県玉野市で開催されました

【濱村中央執行委員長挨拶】

日頃より、様々な自治労連活動に「理解・協力を頂き、中央執行部を代表し、この場をお借りしまして心からお礼申し上げます。

さて、昨年4月、熊本を中心に発生しました「熊本地震」は、死者50名、関連死者167名、負傷者2700名、住家被害19万棟以上と甚大な被害が生じています。犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災されました皆様には一日でも早い復興を心よりお見舞い申し上げます。自治労連におきましても各単組より多額の義援金をいただき復旧の礎になったものと確信しております。

また、昨年は「ひまりちゃんを救う会」への募金活動も行いました。森川ひまりちゃん、拡張型心筋症のため心臓移植が必要なお子さんでありました。ひまりちゃんのお父様は、我々自治労連構成組織があります。沖縄県うるま市出身ということもあり、募金活動を要請したものであります。昨年11月には渡米し、無事手術を終えることができ、現在は一般病棟にてリハビリを行っているとのこと。このように昨年は、「友を愛する」という自治労連の精神の「友愛の心」を垣間見ることができた一年であったと思えます。

我々公務員におきましては、8月8日人事院は政府と国会に對して、2016年度の国家公務員の月例給を1500円から4000円と平均0.2%の引き上げ、一時金を年間4.2月から4.3月に0.1ヶ月増とする勧告を行いました。この勧告は2016年春季生活闘争における民間組合の解決状況を踏まえたものであり、3年連続の給与・一時金のプラス改善は評価するものであります。

次に、給与制度の改革等についてであり、配属者に係る扶養手当の見直し」が勧告されました。これは、配偶者に係る手当額を他の親族に係る手当額と同額まで減額するということであり、すでに先月から実施されておりますが、受給者の負担をできるだけ少なくする観点から2年間で段階的に減額が行われることとされています。また、配偶者の扶養手当で減額となつた原資を用いて子に係る手当額を同じく2年間で段階的に増額されるものであります。他には介護休暇の分割や介護時間休の新設も勧告されています。

来賓のご挨拶

公務労協・加藤達夫副事務局長



公務労協は、熊本地震の取組、臨時非常勤の処遇改善、退職手当の調査、今年の賃金状況について、これまでの対応、これからの取組についてのお話がありました。また、皆さんが住民への安定的な行政サービスを提供し、大きな責任と役割を果たしていくため、自信と誇りを持って働くことができるよう、私たち公務労協・公務員連絡会は、交渉体としての役割を果たすために頑張っていくと述べられました。

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 出身単組名. Lists members of the 2017-2018 Executive Body.



大変お疲れ様でした
役員の改選に伴い
退任された方を紹介します

- 濱村 真光 (荒尾市役所新職員組合) 委員長4年・副委員長2年・書記長2年・執行委員4年(顧問就任)
- 田爪 正常 (西都市役所職員組合) 書記次長4年
- 福江 都志 (大村市職員組合) 書記次長2年
- 櫻部 智哉 (周南市役所職員組合) 執行委員4年
- 坂崎 伸治 (八代市役所職員組合) 執行委員2年
- 石垣 やよい (石垣市職員労働組合) 執行委員2年
- 松葉 洋之 (えびの市役所職員組合) 顧問2年・書記長4年・書記次長4年
- 杉本 昭一 (えびの市役所職員組合) 会計監査2年

自治労連顧問「にしはま和博」八代市議3期目へ



にしはま和博 氏

自治労連顧問である西濱和博氏(八代市職顧問)は8月27日執行の八代市議会議員選挙に出馬します。西濱氏に対しては、自治労連熊本地方協議会、八代市役所職員組合、八代市水道職員労働組合が推薦しています。

～西濱和博顧問の自治労連での活躍～

- 【組織拡大の取組み】
 - 未差別加入組織に対する自治労連普及活動
- 【組織強化の取組み】
 - 代表者書記長会議での講師 (例) 議題「地方分権時代における政策実現の手法」等
 - 各種研修会の開催 (例) 法政執務、若者政策、人材育成、公務における接遇研修等
 - 各分野における最新の情報・資料提供 など

◆次号は、5月以降に開催された各単組の定期総会など紹介します。乞うご期待。(自治労連教育宣伝部)

にしはま和博が掲げる主な政策目標

1. “切実な声”・“声なき声”に寄り添う政策
八代地域特有の福祉・医療行政の充実
高齢者など弱い立場の方達(障がい者・障がい児、生活困窮者、疾病者等)の実情・真意を汲み取る政策
八代市における地域医療のあるべき姿を描いた『八代市医療政策ビジョン』を策定。
八代市における地域医療のあるべき姿を描いた『八代市医療政策ビジョン』を策定。
八代市における地域医療のあるべき姿を描いた『八代市医療政策ビジョン』を策定。

2. “子どもたちの未来は、八代の未来そのもの”政策
子育て環境・発達段階教育の充実
妊産期・乳幼児期、小学校期における保護者への子育て支援
子育て世帯の母親・父親をサポートする『新たな公的システム』を構築。
次代を担う子どもたちに対する未来への投資
八代市民あがての共通目標『幼児教育ビジョン』を策定。
社会福祉法人等と連携した八代市独自の『幼児期教育プログラム』を開発。
高校までの発達段階に応じた『ライフデザイン教育及びキャリア教育』を推進。

3. “若い世代が活躍できるまち八代”の確立
若者の社会形成・社会参加を支援する政策
若者や子育て世代が学校や職場に限らず、あらゆる場面で一層能力を発揮し活躍できる環境を整える。
若者が活躍できるまち八代
若者や子育て世代が学校や職場に限らず、あらゆる場面で一層能力を発揮し活躍できる環境を整える。



【運動方針を提案する唐田書記長】

で速やかに対応していきたいと考えます。当局との交渉には情報収集と現状の分析が不可欠なことから、今後さらなる充実した情報の提供に努め、各構成組織の交渉等の一助となれるよう取組みを進めてまいります。

まず、平成28年10月1日(土)から2日(日)にかけて、第13回ユース部全国代表者を福岡県福岡市にて開催しました。全国から9単組21名の参加がありました。

ユース世代における知識や諸能力の向上など、未来を担うリーダー育成に尽力するとともに、全国的なネットワークの拡大や交流の活性化を支援するための活動を展開していきたいと考えております。

【2017取組み】 差別等への未加入組織に対して「自由にして民主的な労働運動」を基本理念に活動を行う自治労連への加盟をアピールすることにより、産別としての組織拡大を目指す。一方、各構成組織内における新規採用職員等のオルグ活動等に対する助言等も行っています。

また、女性組合員の組合活動への関心を引き出すため、組合活動に対する認識を深める活動を行うとともに、女性組合員間の交流を活発にするため、女性組合員主体による研修会等の準備を行いました。

【2017取組み】 これまでの活動をさらに強化すべく、教育部門と宣伝部門に分けて取り組んでまいります。教育部門においては、私たち自治労連だからできる産別活動とその魅力を、今後迎える50周年に向けて、50年間貫き通してきた歴史の重みを感じつつも、時代のニーズに合ったこれらの組合活動の教育を行ってまいります。

【2017取組み】 単組の要求書、アンケートについても、昨年度に引き続き集約を行い、単組で活用できるよう情報提供を行いました。単組により事情は異なりますが、共通した課題等参考となった部分が多かったのではないかと思います。

【2017運動方針】

【運動の基調】(一部抜粋)

私たち自治労連は、各自治体に共通する課題に対して統一的、効果的に問題解決を図るため結成されたものであり、地域のために懸命に働く組合員のために存在しています。また、それぞれの持つ力が結集され、様々な運動を通じて内外に発揮されることに重要な意義があり、労働運動の民主化を通じて、地方の発展にも貢献していかなければなりません。

私たちは、公務員組合が果たすべき社会的役割が極めて大きいことを自覚し、効率的で質の高い公共サービスを提供しながら、地域住民の皆様にも「のまちに住んでいて良かった」と実感いただける「暮らしやすいまち」「働きやすいまち」を目指すまじつくりを実践していくことが重要であります。

自分たちの権利のみを主張するのではなく、行政改革、ボランティア活動等にも積極的に関わり、地域が発展していく中において、私たちの生活も向上していくものでなければならぬと考えております。

私たち自治労連の運動は、民に近い官の考え方を大切にしながら、自治労連らしい「住民目線」を常に意識した労働運動を展開していかねばなりません。公務員組合のあるべき姿を追求するとともに、考えを同じくする加盟単組の仲間や友誼団体とともに相互理解を深めながら活動を推進し、働くものすべてが人間らしく、心豊かに暮らせるために、友愛と連帯の精神に満ちた魅力あふれる社会の実現を目指します。

【運動の具体的課題と進め方】

1. 雇用と賃金労働条件に関わる取組み
 - (1) 雇用と生活を守り、公務員給与の社会的合意を求める取組み
 - (2) 本年の人事院勧告の取り扱いに対する取組み
 - (3) 2017年度基本要求的取組み
 - (4) 退職手当の官民比較及びその結果に対する取組み
 - (5) 勤務時間など労働諸条件改善の取組み
 - (6) ワークライフ・バランスの推進 女性の労働権確立に向けた取組み
 - (7) 非常勤職員等の雇用と労働条件確保の取組み
2. 雇用と年金の確実な接続等に向けた取組み
3. 組織力、交渉力の強化と労働基本権確立等の取組み

【専門部の経過報告と取組み】

《組織対策部 湧川博昭》 (一部抜粋)

昨年度は、産別等の未加入組織の加盟に向けて、委員長を中心にオルグ活動に取り組む、手応えを感じております。加盟単組へは、これまでと同様、各単組間の情報共有化、組織強化を図る活動



加入組織の加盟に向けて、委員長を中心にオルグ活動に取り組む、手応えを感じております。加盟単組へは、これまでと同様、各単組間の情報共有化、組織強化を図る活動

【2017取組み】 差別等への未加入組織に対して「自由にして民主的な労働運動」を基本理念に活動を行う自治労連への加盟をアピールすることにより、産別としての組織拡大を目指す。



《ユース対策部 田爪正常》

これまでの経験や様々な機会に出されたユース世代の意見を反映させつつ、ユース世代のスキルアップにつながる、また業務及び組合活動をサポートすることを念頭に置きながら活動を展開してまいりました。

ユース世代における知識や諸能力の向上など、未来を担うリーダー育成に尽力するとともに、全国的なネットワークの拡大や交流の活性化を支援するための活動を展開していきたいと考えております。



《議長団》

(左) 玉野市役所職員組合 白神真志さん (右) 下関市職員組合 若松千津子さん



《大会宣言》

玉野市役所職員組合 藤原雅彦さん

定期大会交流会

夕方から行われた第48回定期大会交流会は、新中央執行委員長に就任した関谷委員長が今後の抱負を述べ、政策研究フォーラムの徳田孝蔵専務理事より、ご挨拶をいただきました。

その後、湧川副中央委員長の乾杯で幕を開けた交流会では、昨年8月に、玉野市を全国にPRしようと若手男性職員5人で結成されたアイドルグループ「TMN4. 8」が登場！玉野市の魅力をPRした後、「うみぼすダンス」を披露して、会場は大いに盛り上がりました。メンバー5人は第2期生で、玉野市のイベントでお披露目前とのことでした。ご出演、ありがとうございます。また、平成25年から4年間、中央執行委員長を務められ(中央の役員としては通算12年間)、今大会で退任された濱村前中央執行委員長の胴上げを行いました。退任された皆様、これまで本当にお疲れ様でした。

最後に、全員で記念撮影を行い、定期大会交流会 in 玉野の幕を閉じました。

玉野市役所職員組合の皆様、本当にありがとうございました。



合員のためになる教育を心がけながら活動してまいります。

宣伝部門においては、産別の良さや弱点を確認、整理しながら、自治労連の個性や魅力を、機関紙「ふりーじあ」やホームページを通じて、組織の内外に発信してまいります。加盟単組についての情報も積極的に発信し、単組執行部の皆様と一体となって魅力的なホームページを運営し、閲覧者数の増加に取り組んでまいります。



《業務対策部 澤重大》

各構成組織が直面している問題について、単組からの情報提供をとりまとめ、情報を共有化し、交渉等の材料として役立てていくことを目的に取り組んでまいります。